

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道433号 川戸拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県山県郡千代田町蔵迫 至：広島県山県郡千代田町惣森			延長	6.5 km	
事業概要	一般国道433号は、広島県大竹市から広島県三次市に至る延長10.8kmの幹線道路である。 川戸拡幅は、交通隘路の解消及び交通の安全確保を目的とした、延長6.5kmの2車線道路である。					
S63年度事業化	都市計画決定なし		S63年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	約39億円		事業進捗率	63%	供用済延長	3.7km
計画交通量	500台/日					
費用便益分析結果	B/C： (事業全体) 1.1 (残事業) 3.8	総費用：(残事業)/(事業全体) 4/51億円 (事業費：3/46億円) (維持管理費：1/5億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 15/54億円 (走行時間短縮便益：14/49億円) (走行費用減少便益：1/4億円) (交通事故減少便益：0/1億円)	基準年： 平成15年		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.2(交通量+10%) B/C=1.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.1(交通量+10%) B/C=1.1(交通量-10%)					
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築(現道における大型車のすれ違い困難区間L=6.5kmを解消する) ・災害への備え(事前通行規制区間の解除L=3.2km) 他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	川戸拡幅は、中山間地における地域間交流、また地域産業の活性化や地域の日常生活の向上を図る重要な幹線道路であることから、早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	H13.2に中国横断自動車道(千代田JCT~旭IC)が供用しアクセス道路として整備が要望されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	急峻な地形から大規模構造物が多いこと、冬期は積雪により施工が制限されることにより長期間を要しているが、現在までに3.7kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地取得は概成しているものの、一部難航箇所があり連続した工事展開が図れなかったことから、今後も引き続き用地買収を推進し、早期供用に努めるものである。					
施設の構造や工法の変更等	盛土材料として、同一路線で施行中の加計豊平バイパスへ発生残土を搬出する等、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。